

人と地域が輝く常盤協議会 アンケート 調査結果

調査方法および概要

調査目的 地域住民が主体的に行動するための指針、「地域まちづくり計画」を今年度末に策定するにあたり、常盤学区のみなさんの考えや意見を把握する。

実施期間 2012年

対象 草津市常盤学区 16ヶ町

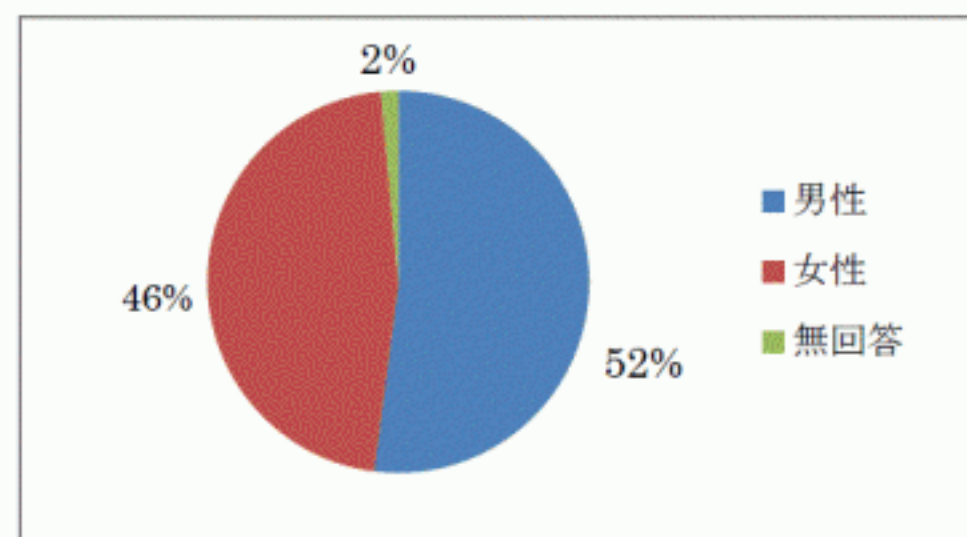
配布および回収

配布数、回収数 配布 1,346通 回収 949通（回収率 70.5%）

I. あなた自身のことをおたずねします

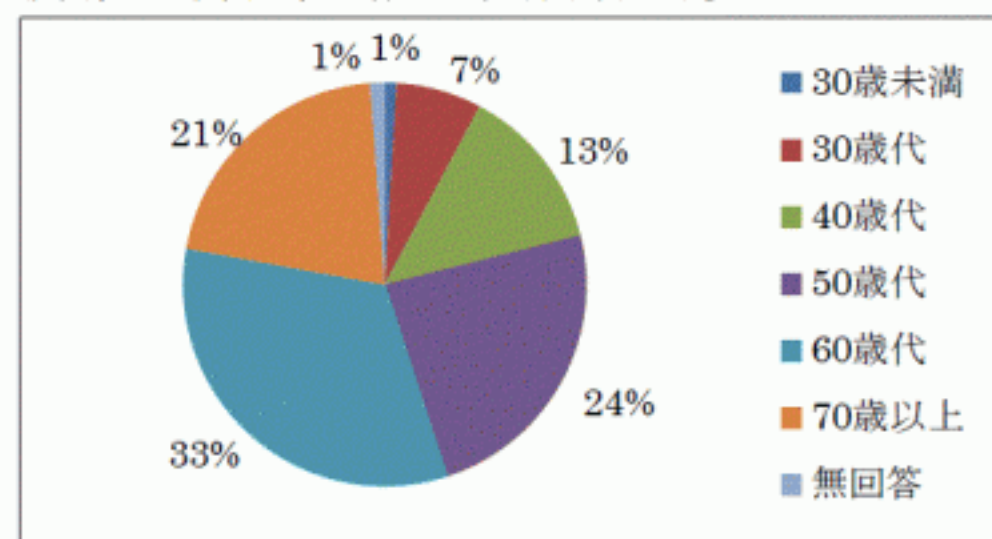
① あなたの性別は

男女比率はほぼ同じである。



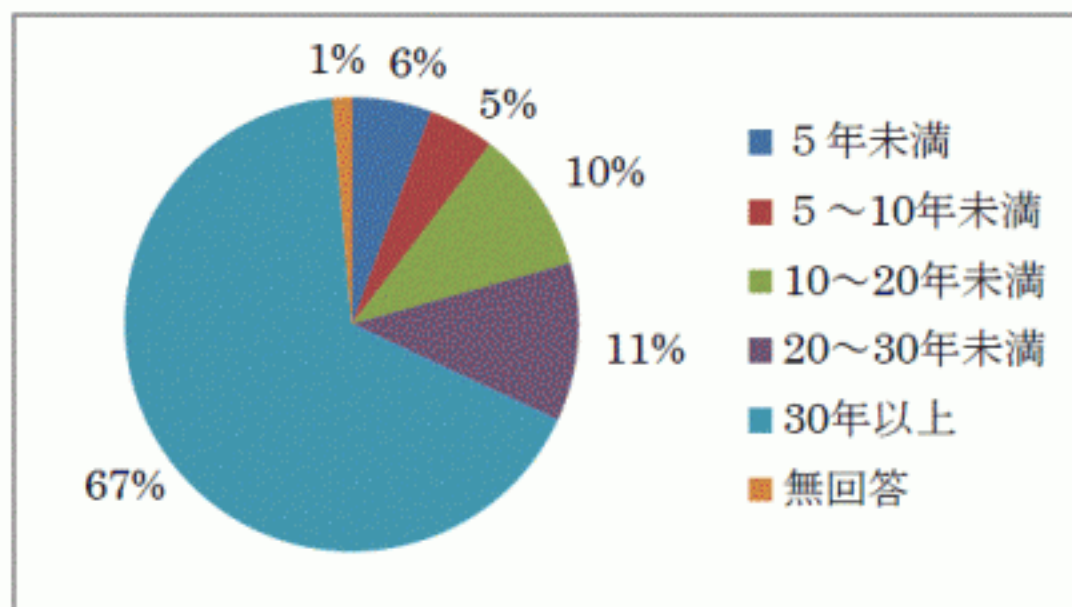
② あなたの年齢は（平成24年4月1日現在）

多い順から60歳代、50歳代、70歳代、40歳代、30歳代、30歳未満である。上位の60歳代、50歳代、70歳代で、全体の8割弱を占める。



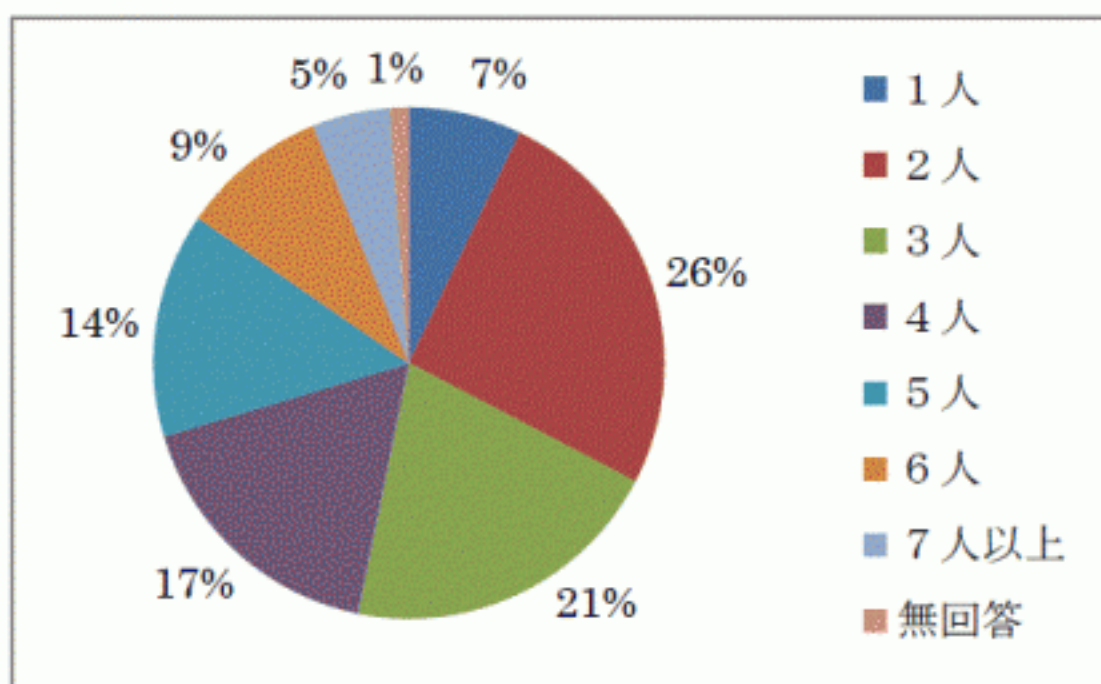
③ 常盤学区にお住まいになって何年ですか

30年以上が一番多く7割弱である。ついで、20～30年未満、10年～20年未満、5～10年未満、5年未満の順である。10年未満の者は1割である。



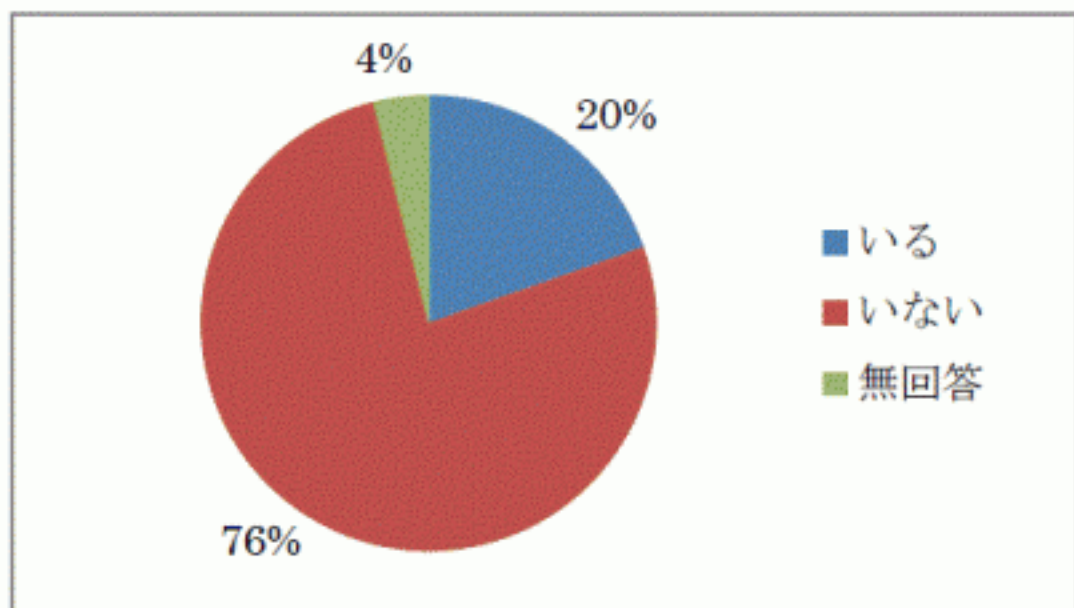
④ いっしょにお住まいになっている人数（記入者を含む）

多い順から、2人、3人、4人、5人、6人、7人以上、1人である。1人は1割弱、6人以上は1.5割である。



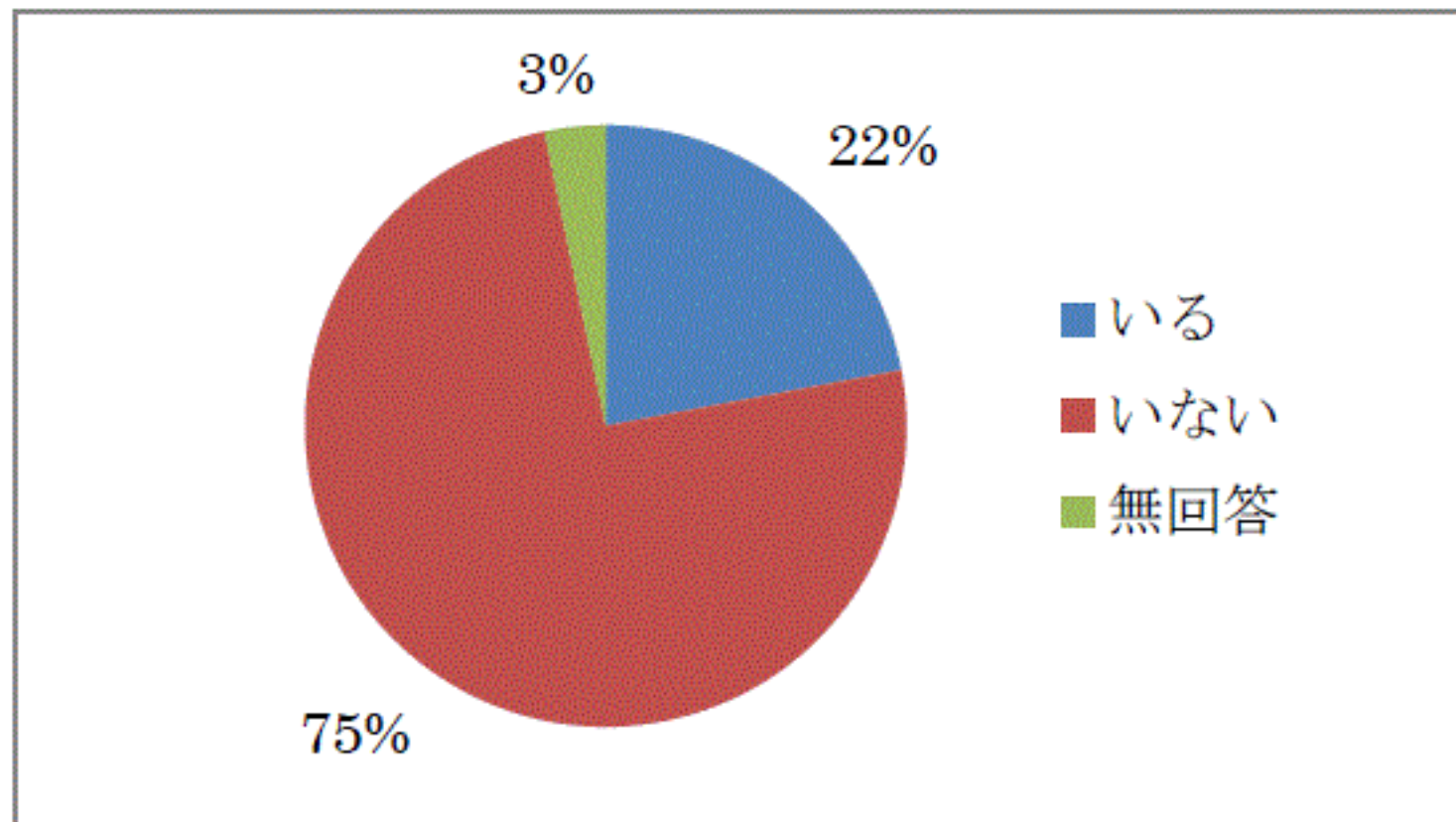
⑤ 上記④の中に、中学生以下の子供はいますか

「いない」が7割以上、「いる」が2割である。



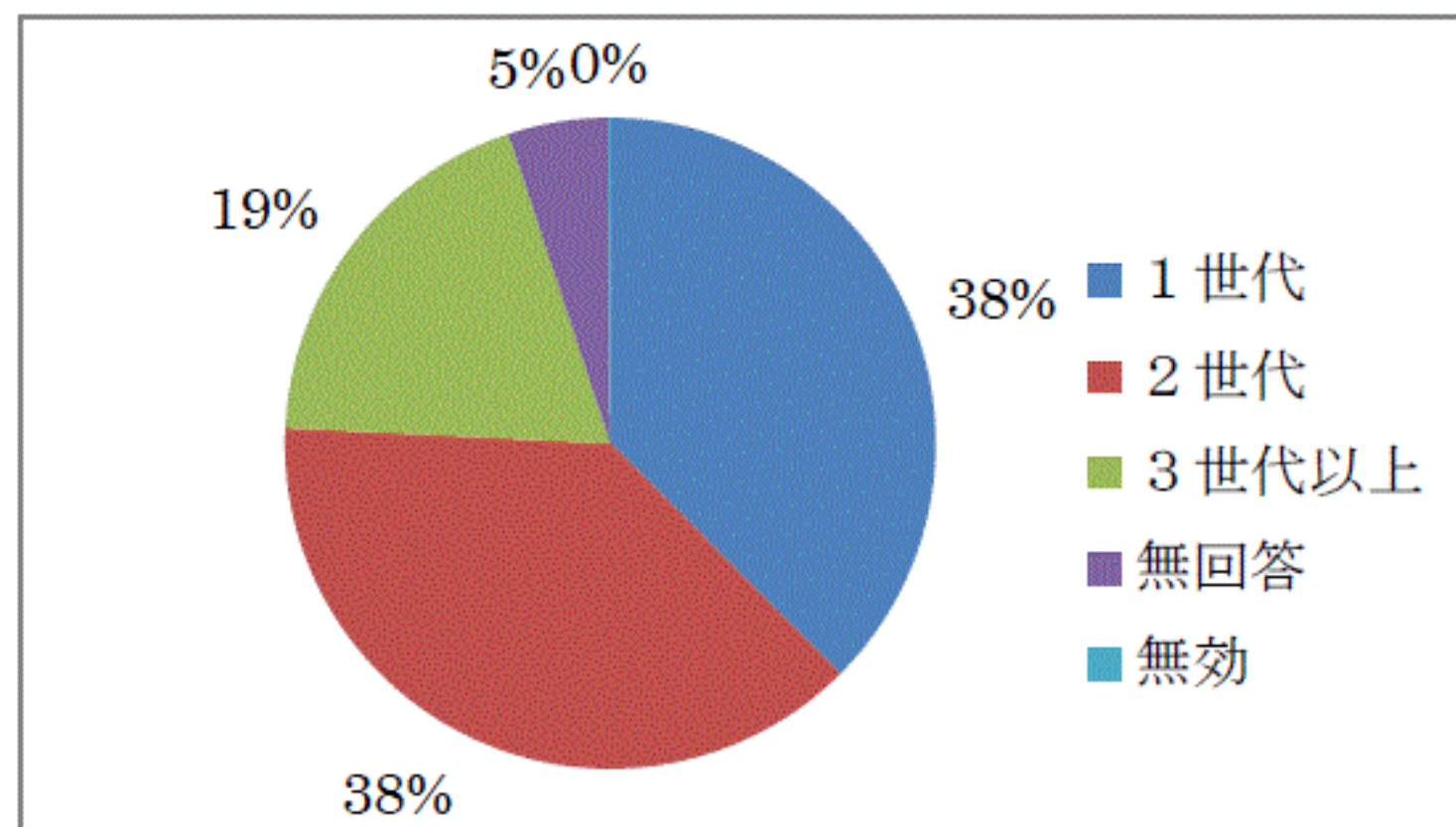
⑥ 上記④の中に、80歳以上の人はいいますか

「いない」が7割以上、「いる」が2割である。



⑦ どのような同居形態を望みますか

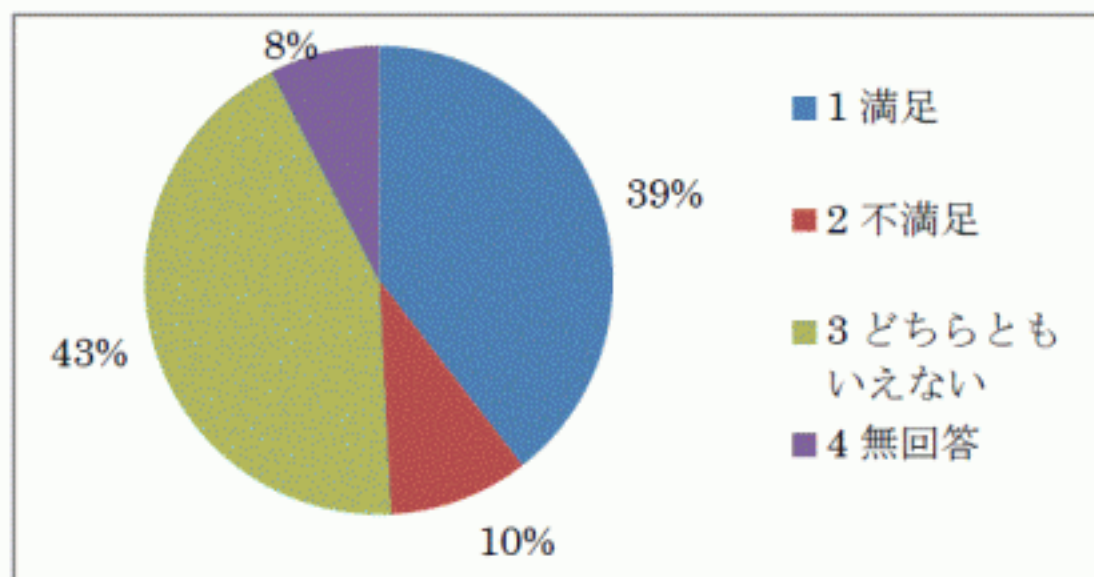
2世代、1世代、3世代以上の順である。2世代、1世代がほぼ同数で4割弱、3世代以上が2割である。



II 常盤学区についておたずねします

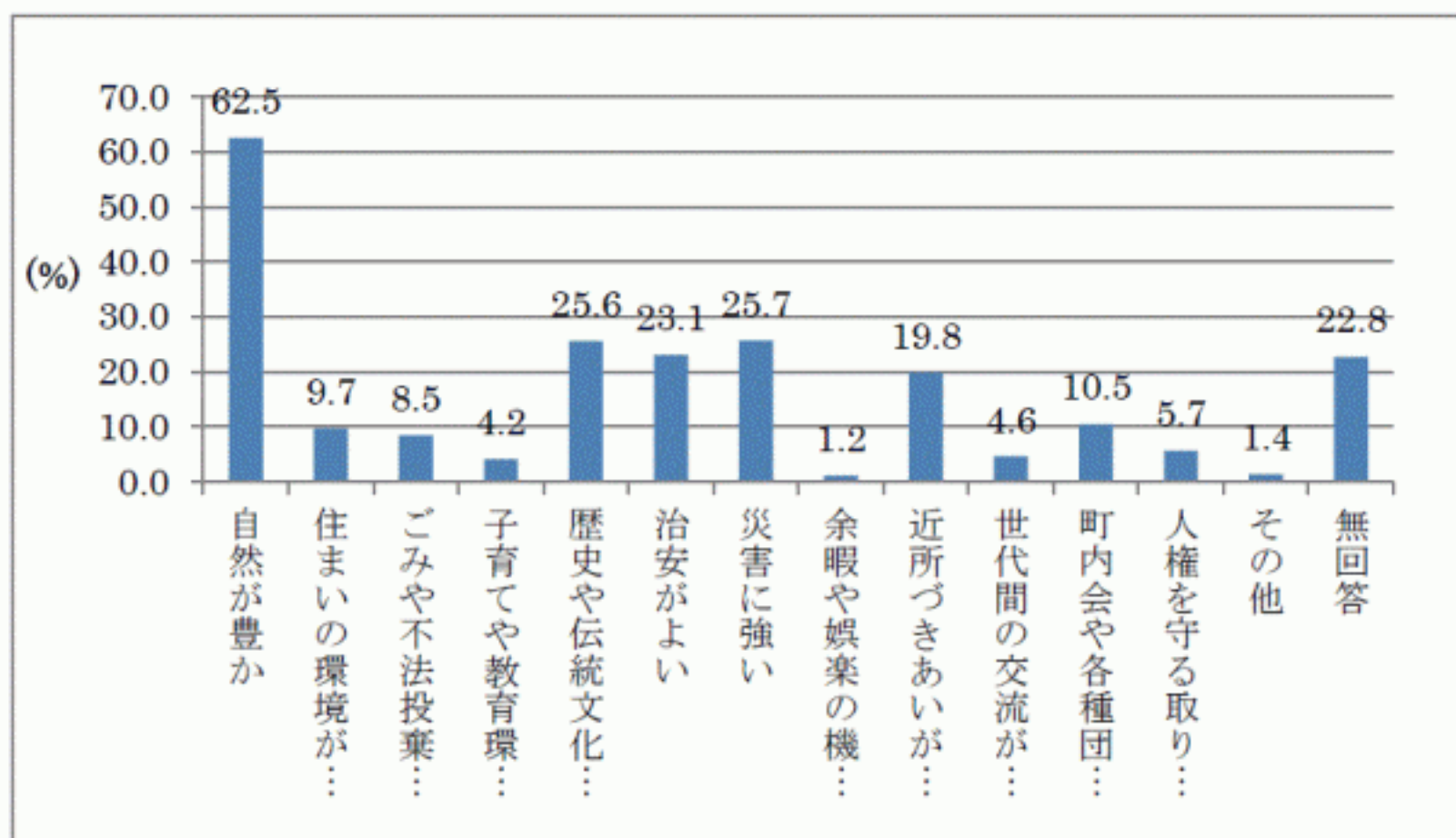
① あなたは常盤学区の住み心地に満足していますか

「満足」が4割、「不満足」が1割である。「どちらともいえない」が4割強である。無回答も1割弱あった。



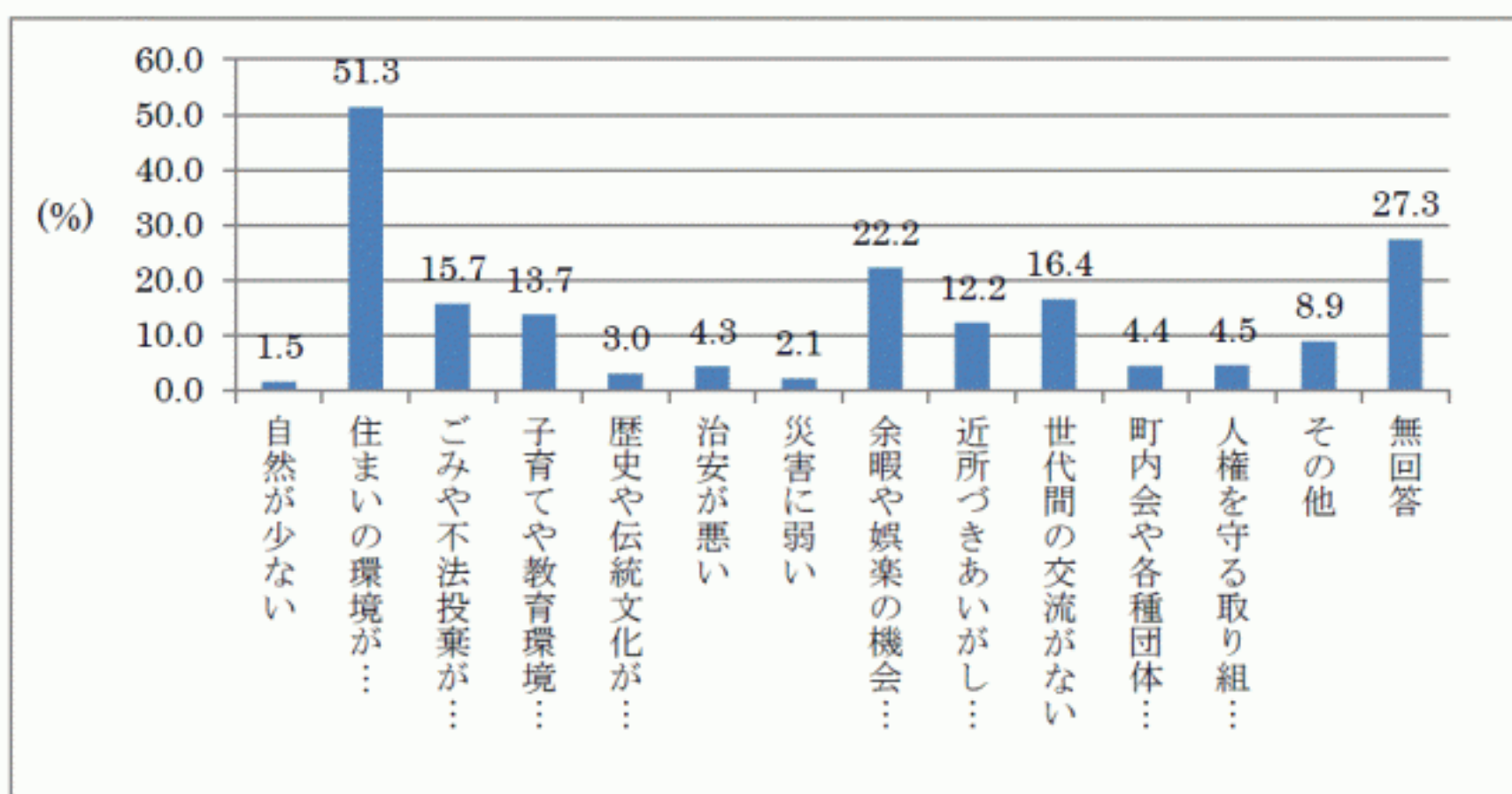
② 満足していることは何ですか（複数回答）

6割強が「自然が豊かである」ことをあげている。ついで、「災害に強い」、「歴史や伝統文化がある」、「治安がよい」の順でいずれも2割強、「近所づきあいがしやすい」が2割である。「町内会や各種団体などの地域活動が活発である」、「住まいの環境（交通や買い物が便利、医療機関が近いなど）が整っている」、「ごみや不法投棄がなく、まちが美しい」が、それぞれ1割前後である。「人権を守る取り組みが行われている」、「世代間の交流がある」、「子育てや教育環境が充実している」は0.5割前後、「余暇や娯楽の機会が多い」は0.5割にも満たない。「その他」の自由記述には、「静かなところ」や「町内に一致団結を感じられる」、「人権学習が継続され、よくなりつつある」といった他の分類にも通じる意見がみられた。「住み始めたところなのでまだわからない」という回答もあった。また、2割強が無回答であった。



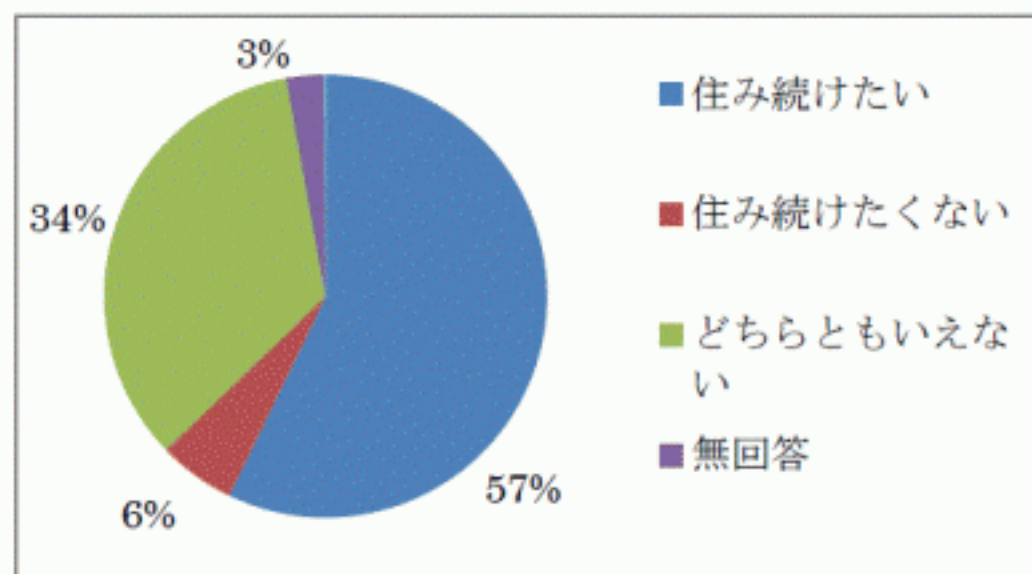
③ 不満なことは何ですか（複数回答）

「住まいの環境（交通や買い物が便利、医療機関が近いなど）が整っていない」ことを5割強があげている。「余暇や娯楽の機会が少ない」が2割強である。ついで「世代間の交流がない」、「ごみや不法投棄が多く、まちが汚れている」、「子育てや教育の環境が整っていない」、「近所づきあいがしづら
い」で、いずれも1割を超えている。「人権を守る取り組みが不十分である」、「町内会や各種団体などの地域活動が少ない」、「治安が悪い」が0.5割で、「歴史や伝統文化が少ない」、「災害に弱い」、「自然が少ない」は0.5割にも満たない。「その他」の自由記述には、町内会や各種団体などの地域活動について、「多すぎる。時間が取られすぎる」との記述が30通ほどあった。「考え方が古い。封建的である」、「町内会費が高額である」、「近所づきあいが難しい」といった活動のあり方や人間関係に関する意見もあった。そのほか、「川沿いなどでゴミを燃やす人が多い」、「雑草の処理に困る」、「犬のフンのしま
つがわるい」あるいは「交通の便が悪すぎる事」、「スーパーがない」、「車に乗れなくなると不便だと感じる」といった他の分類にも通じる回答がみられた。また、無回答が3割弱あった。



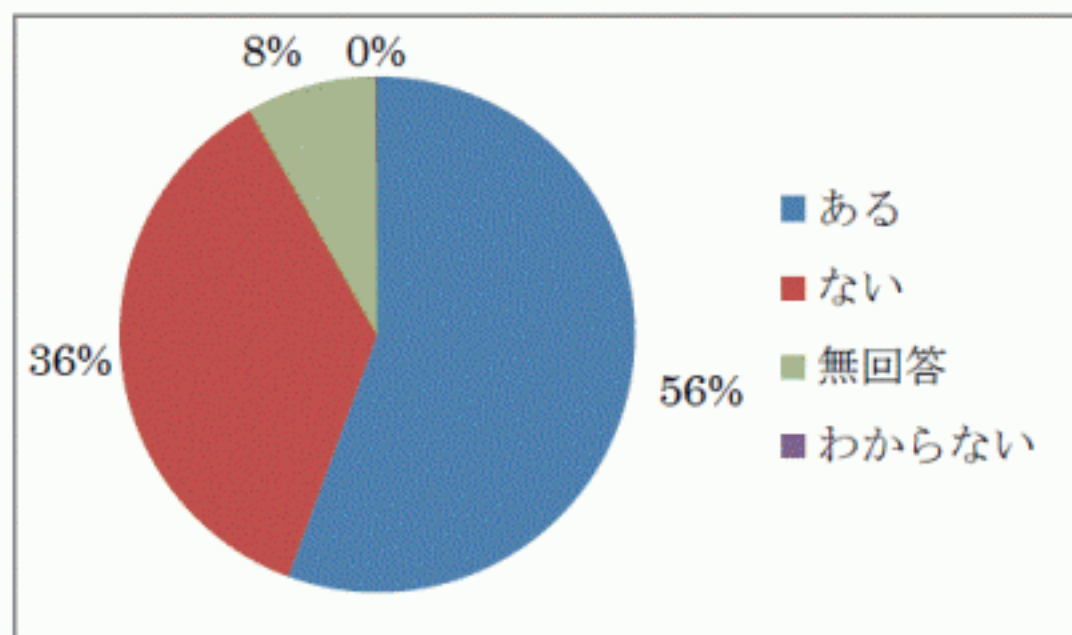
④ あなたは、これからも常盤学区（自分の町）に住み続けたいと思いますか

6割が「住み続けたい」。「住み続けたくない」は1割に満たない。「どちらともいえない」が3割強である。



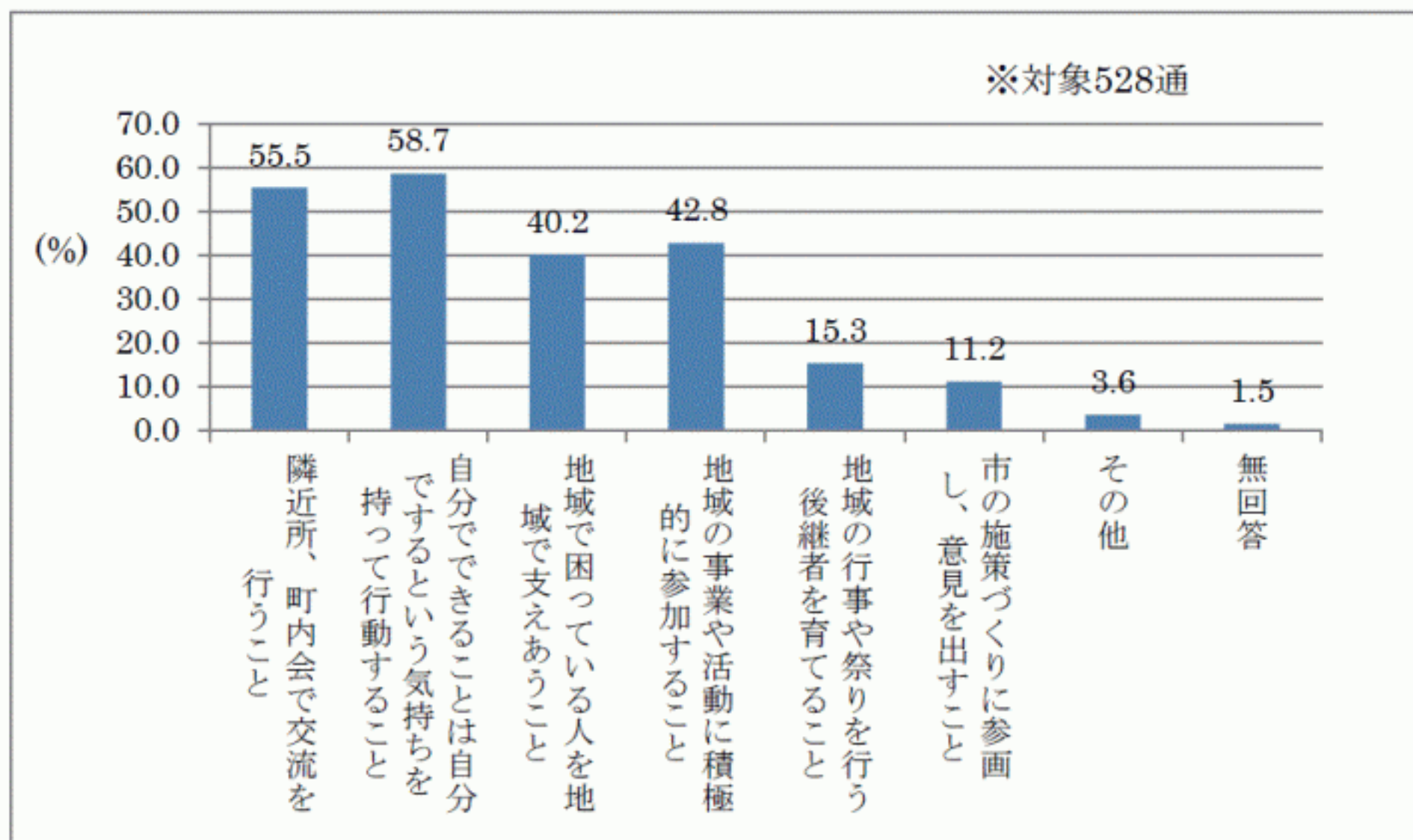
⑤ 住みよい常盤のまちづくりのために、あなたができることはあると思いますか

「ある」が5割強で、「ない」が4割弱、無回答が1割弱である。



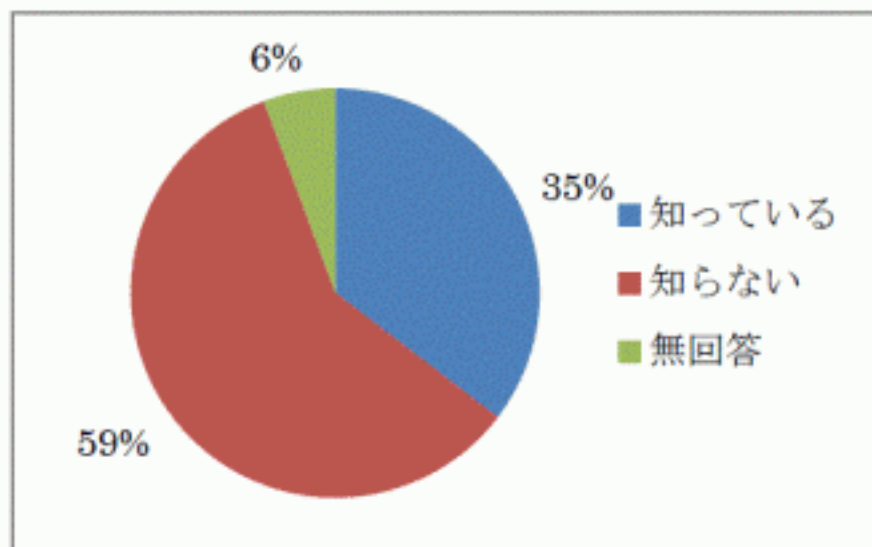
⑥ 【⑤で「ある」と答えた方】あなたができることは何ですか（複数回答）

「自分でできることは自分です」という気持ちを持って行動すること」、「隣近所、町内会での交流を行うこと」がともに5割を超えている。ついで、「地域の事業や活動に積極的に参加すること」、「地域で困っている人を地域で支えあうこと」が4割強である。「地域の行事や祭りを行う後継者を育てること」は1.5割、「市の施策づくりに参画し、意見を出すこと」は1割強である。「その他」の自由記述には、「何を次代に残し、何を見直すべきかの意見をはっきりと若者を含めて意見できる場が作れたらと思う」、「不要な行事を中止する意見を言う」、「ゴミを決められたところにすてる」、「あいさつ運動」などの意見があった。



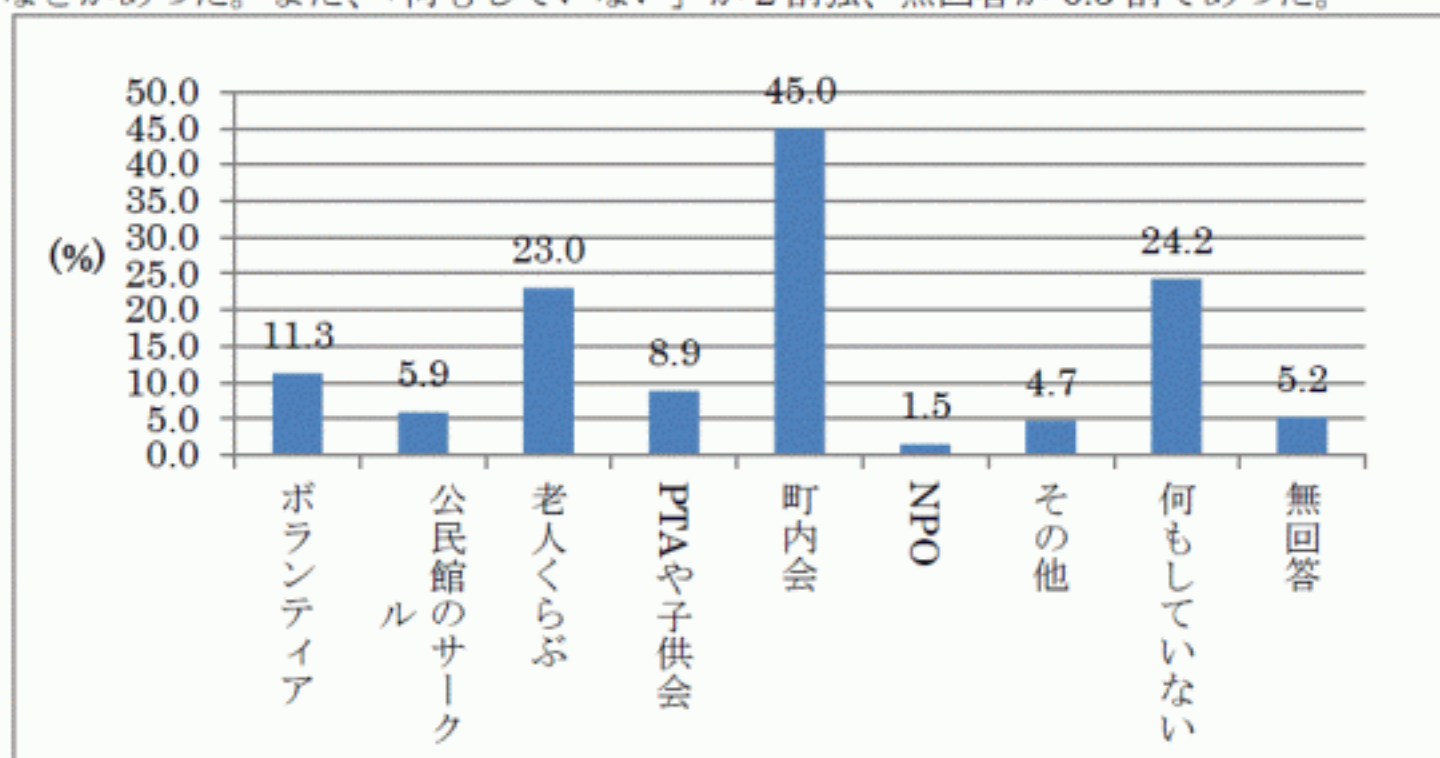
⑦ あなたは「人と地域が輝く常盤協議会」を知っていますか

「知っている」が3割強、「知らない」が6割、無回答が1割である。



⑧ あなたは、地域でどのような活動をしていますか？（複数選択）

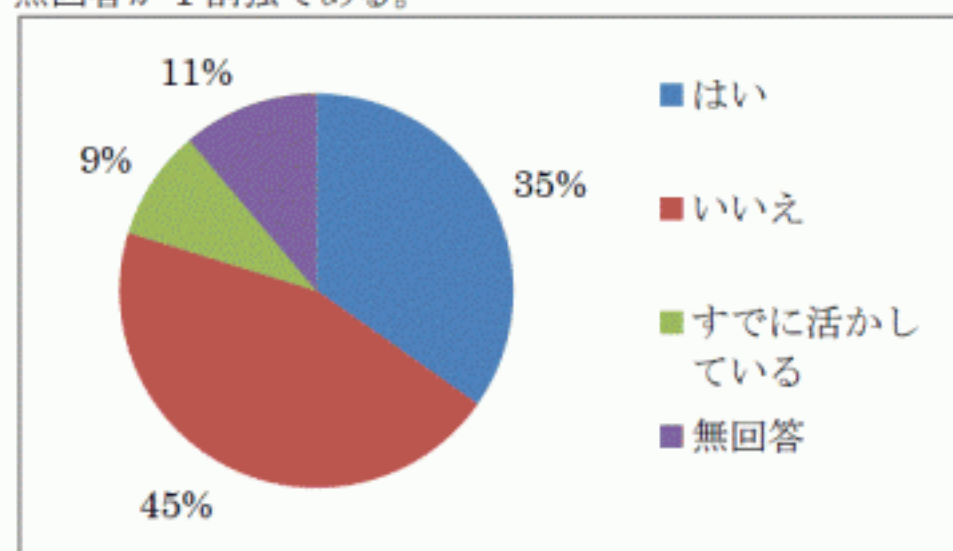
5割弱が「町内会」の活動をしている。ついで、「老人クラブ」、「ボランティア」、「PTAや子供会」、「公民館のサークル」の順である。「その他」には、「宮総代」、「仏教壮年会」といった地域の社寺に関わる活動、「婦人会」、「子どもの安全パトロール」、「交通安全指導」、「地域サロンほのぼののサークル」などがあつた。また、「何もしていない」が2割強、無回答が0.5割であつた。



⑨ あなたの経験や技能などを地域のまちづくりに活かしてみたいと思いますか

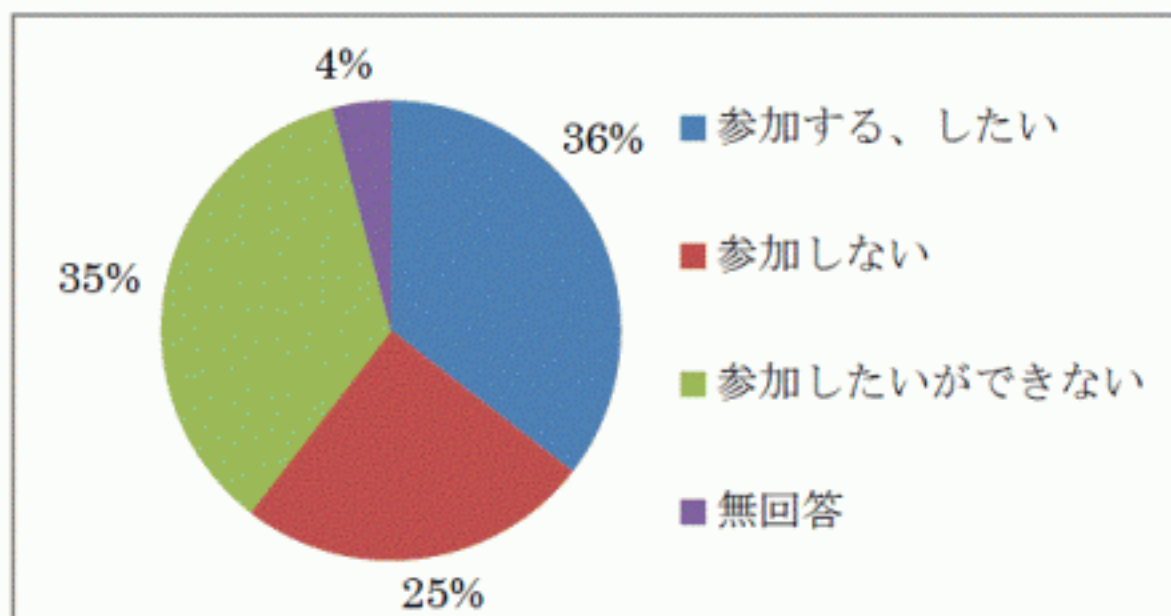
「いいえ」が一番多く4割強、「はい」が3割強である。「すでに活かしている」も1割弱あつた。

無回答が1割強である。



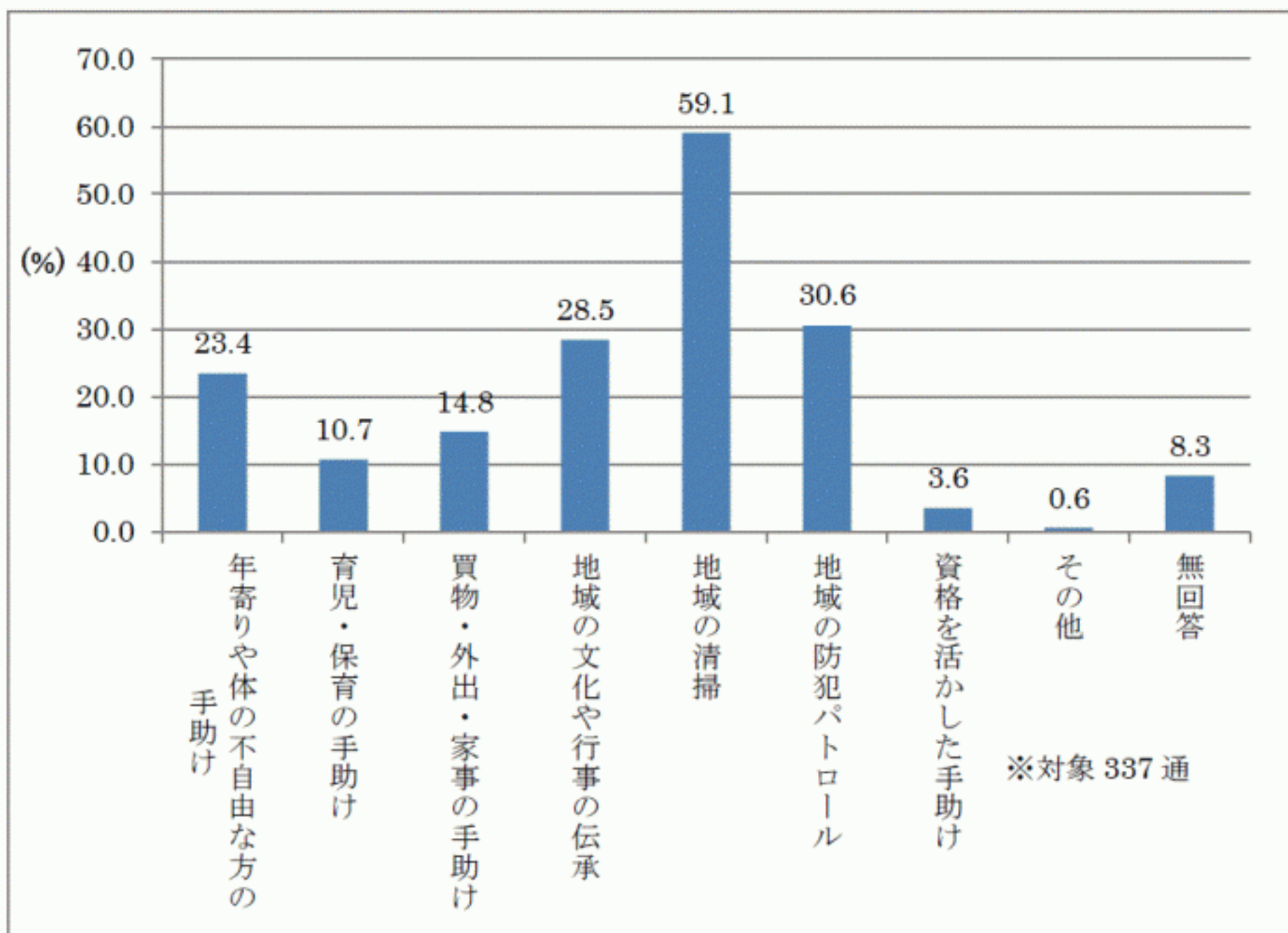
⑩ あなたは安心して暮らせるまちづくりのためのボランティア活動に参加しますか

「参加する、したい」が3割強、「参加したいができない」も3割強、「参加しない」が2割強である。「参加したいができない」と「参加しない」をあわせると6割である。



⑪ 【⑩で「参加する、したい」と答えた方】どのようなことができますか（複数選択）

6割が「地域の清掃」と回答している。ついで、「地域の防犯パトロール」、「地域や行事の伝承」が3割である。そして、「年寄りや体の不自由な方の手助け」、「買い物・外出・家事の手助け」、「育児・保育の手助け」の順が多い。「資格を活かした手助け」の具体的記述には、「魚の養殖の技術指導」、「建築全般（修繕、修理）」、「ヘルパーの資格をもっている」、「口腔ケア」などがあつた。



⑫【⑩で「参加しない」または「参加したいができない」と答えた方】その理由は何ですか（単数選択）

「時間がない」が5割弱、「その他」が2割弱、「関心がない」が1.5割、「どうしたらよいかわからない」が1割である。「その他」の自由記述では、「体力的に無理」、「病気のため」といった自身の身体的理由をあげるものが1割に及んだ（「高齢のため」といった年齢を理由にしたものも含む）。ついで、「家族に要介護老人がいる」、「子供が小さいため」といった家族の状況をあげる人も多い。「仕事を優先したい」、「現在他のボランティア活動で精一杯」といった他の分類にも通じる回答も幾つかあった。また、「農村地域で古い習慣がありすぎる」、「意見の相違が争いとなり生活に歪が生じる」、「活動内容が目に見えない」等、活動そのものに対する意見があった。

